

氏名	高橋 綾	部署	看護学科	職名	講師
研究分野	基礎看護学				
学位	修士(看護学)				
学歴					
経歴					
所属学会(役職)	日本看護科学学会、日本看護研究学会、日本糖尿病教育・看護学会、日本看護学教育学会				

【2016年度実績】

1. 研究業績					
著作・論文・学会発表等の名称	単著・共著の別	(1)発行所、全ページ数 (2)雑誌名、巻(号)、開始-終了ページ (3)学会名、開催都市	(1)(2)著者、編者名 (3)発表者(発表者は○印)	発行・発表年月	
(1) 著作					
1 看護学テキストNiCE 成人看護学 成人看護技術(改訂第2版)生きた臨床技術を学び看護実践能力を高める	共著	南江堂:P.381	編集:野崎真奈美,林直子,佐藤まゆみ,鈴木久美(第1章:分担執筆)	2017.3	
(2) 論文					
1 下咽頭がんによる喉頭全摘出者の退院後1年間の生活のしづらさの実態－質的研究－	共著	聖路加看護学会誌, 20(1), 27-34.	小竹久実子, 山田雅子, 鈴鴨よしみ, 岩永和代, 羽場香織, 高橋綾	2016.7	
2 Social support and substitute voice acquisition on psychological adjustment among patients after laryngectomy.	共著	European Archives of Oto-Rhino-Laryngology, 274(3), 1557-1565.	小竹久実子, 鈴鴨よしみ, 甲斐一郎, 岩永和代, 高橋綾	2017.3	
(3) 学会発表					
1 がんにより口腔機能を喪失した患者に関わる看護師のセルフエフィカシーの実態	共著	第36回日本看護科学学会学術集会、東京	○高橋綾、小竹久実子、山田雅子、岩永和代、鈴鴨よしみ、甲斐一郎、羽場香織、石橋曜子	2016.12	
2 Nursing Practice for Patients With Lost the Oral Cavity Function: The Perspective of Home Nursing	共著	27th Sigma Theta Tau International ,Cape Town	○小竹久実子、山田雅子、岩永和代、鈴鴨よしみ、甲斐一郎、羽場香織、高橋綾、石橋曜子	2016.7	
3 The Employment Status of Total Laryngectomy Patients in Japan And Its Association With Their QOL	共著	27th Sigma Theta Tau International ,Cape Town	○岩永和代、小竹久実子、羽場香織、鈴鴨よしみ、甲斐一郎、高橋綾、石橋曜子	2016.7	
4 Changes in the participation status of laryngectomized patients in a self-help group after hospital discharge	共著	27th Sigma Theta Tau International ,Cape Town	○羽場香織、小竹久実子、岩永和代、鈴鴨よしみ、甲斐一郎、高橋綾	2016.7	
5 The Relationship Between the Means of Communication and a self-help group for laryngectomized Patients	共著	27th Sigma Theta Tau International ,Cape Town	○石橋曜子、小竹久実子、岩永和代、羽場香織、鈴鴨よしみ、甲斐一郎、高橋綾	2016.7	
(4) その他					
1 看護学実習における学生の医療事故リスクを把握・防止する教育活動の実態－新人教員支援システムへの活用に向けて－	共著	第25回日本人間工学会システム大会、東京	○高橋綾、野崎真奈美	2017.3	
2. 競争的資金等の研究					
競争的資金等の名称	研究名、研究代表者・研究分担者の別		研究期間		
1 文部科学省・日本学術振興会科学研究費補助金(基盤研究B)	全喉頭摘出者の心理的適応促進のためのRandomized Control Trial 看護介入効果検証(研究分担者)		2016.4～2017.3		
3. 教育業績					
講義・演習・実習・論文指導等の名称	期間	概要(教育内容・方法等において工夫した点)			
(1) 講義					
1 該当なし					

(2) 演習			
1	看護過程論	2016.11～2017.1	看護過程の理解とその展開技術の習得を目的とし、演習指導を実施した。
2	看護方法Ⅰ(看護の基本技術)	2016.11～2017.2	看護場面に共通する基本技術の習得を目的として、授業計画、講義、演習を実施した。
3	看護方法Ⅱ(日常生活援助技術)	2016.4～2016.7	日常生活援助に関する知識と技術の習得を目的とし、演習指導を実施した。
4	看護方法Ⅲ(診断治療の援助技術)	2016.4～2016.6	診断・治療過程にある人の理解と基礎的技術の習得を目的とし、演習指導を実施した。
5	看護方法Ⅳ(実践的看護展開)	2016.7～2016.8	フィジカルアセスメント技術の習得を目指した演習の一部を担当し、学生指導、授業運営サポートを実施した。
6	感染管理	2017.1～2017.2	感染管理における看護師の活動の理解を目的とした演習の計画、運営を実施した。
(3) 実習			
1	基礎看護学実習Ⅰ	2017.2	1施設を担当し、臨地実習指導、施設および臨地指導者との調整を実施した。
2	基礎看護学実習Ⅱ	2016.10	2クール計2グループを担当し、臨地実習指導を実施した。同実習における実習施設との調整を行った。
3	総合実習	2016.7～2016.8	1グループを担当し学内実習、臨地実習指導を実施した。同実習における実習施設との調整を行った。
4	ヒューマンケア体験実習	2016.9～2016.10	2施設を担当し、施設との調整、学生指導を実施した。
(4) 論文指導			
1	該当なし		
(5) その他			
1	卒業研究	2016.4～2017.1	卒業研究論文指導担当:4名
4. 社会貢献活動			
(1) 講演会、研修会等の講師			
	講演会、研修会等の名称	主催	講演、研修等のテーマ
1	公開講座(専門職講座):臨床家のための看護研究セミナー		
			開催年月
			2016.5・6・10・12
(2) 国、自治体、財団法人等における委員等			
	国、自治体、財団法人等の名称	委員等の名称	任期
1	該当なし		
(3) ジャーナリズムでの発言			
	メディア等の名称	内容	年月
1	該当なし		
5. 学内運営(委員会委員)			
1	該当なし		
6. 受賞(研究、教育、社会貢献活動に関するもの)			
	受賞名	主催	受賞年月
1	該当なし		
7. 特許の保有状況			
	特許名	特許番号	登録年月
1	該当なし		
8. 特記事項			
	該当なし		